



第 118 号

熊谷次郎直実の像（熊谷駅前）

発 行 所

埼玉県熊谷市須賀広 784 番地
一般社団法人 埼玉県畜産会
〒360-0102
TEL 048-536-5281
FAX 048-539-1011

発 行 人

大 澤 利 宏

印 刷 所

ポプラ社印刷株式会社
深谷市人見242-3
TEL 048(572)9415



目 次

1 会長就任挨拶	2 頁
2 事業報告	
(1) (一社) 埼玉県畜産会 第 71 回通常総会開催	3 頁
(2) (一社) 埼玉県畜産会 臨時総会開催	4 頁
(3) 令和 7 年度 主要事業の概要	5 頁
3 埼玉県からのお知らせ .	
(1) 家畜保健衛生所の再編について（畜産安全課）	11 頁
(2) お世話になりました！	
『中央家畜保健衛生所は令和 8 年 8 月末日に廃止されます』（中央家畜保健衛生所）	13 頁
(3) 豚熱の殺処分範囲が見直されました（熊谷家畜保健衛生所）	14 頁
(4) 秩父高原牧場だより（秩父高原牧場）	15 頁
4 牛乳消費拡大のため「地方競馬ミルクウィーク」に参加しました	16 頁
5 桶川市べに花祭りで「桶川牛乳」を販売しました	16 頁
6 イベント・行事予定	17 頁
7 畜産団体の活動状況	18 頁
8 一般社団法人埼玉県畜産会 役員名簿	21 頁
9 (一社) 埼玉県畜産会事務分掌表	22 頁
10 浦和競馬場からのお知らせ	
Ⅰ 浦和競馬 NEWS	23 頁
Ⅱ 令和 8 年（2026 年）9 月～12 月 南関東地方競馬開催日程	23 頁
Ⅲ 浦和競馬へ行こう！	裏表紙



会長就任の御挨拶

一般社団法人 埼玉県畜産会
会 長 大 澤 利 宏

令和 8 年 8 月 6 日から会長を仰せつかりました大澤 利宏でございます。日頃から畜産会の運営に格別の御理解と御支援を賜り心からお礼を申し上げます。

退任されました清水前会長におかれましては、令和 5 年に就任されてからの 3 年間、配合飼料価格の高騰などによる畜産物の生産コストの上昇や、県内の高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫対策の積極的な対応など、県内畜産農家の経営安定を図るとともに畜産会の円滑な業務運営に御尽力されました。

後任として、微力ではございますが、本県畜産及び畜産会の更なる発展のために努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

本県の畜産は、消費地に近い強みを活かした「都市近郊型畜産」で、県民や首都圏の住民に向けて新鮮で安全な畜産物を供給しています。さらに、県民への「食育」の機会の提供など、多様な役割を担っていると考えています。

現在、県内の畜産農家戸数は減少傾向にありますが、経営の規模拡大や合理化により、本県農業の基幹的部門として、野菜や米に次ぎ、農業産出額 1,929 億円の約 13% を占めています。

近年は、労働負荷軽減のための ICT や AI を活用した機器の導入も進んでいます。

一方、今後の県内の畜産経営の安定のためには、円安や中東情勢などによる生産コストの上昇、急激な気候変動、消費者の物価高騰などに伴う畜産物購入量の減少、毎年のように発生している高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病などの対策が、今後も引き続き重要になります。

また、事故率を低下させ、より生産効率を上げるために、農場 HACCP など自農場の生産管理を検証する手法の導入も必要になります。さらに、家畜生産現場でのアニマルウェルフェアの導入や、将来的な少子高齢化社会など、県民が求める畜産物需要の多様化に対しても、今から準備を進める必要があります。

このようなことから、県民の皆様に高品質で新鮮・安全で美味しい畜産物の生産を維持するという、本県畜産に与えられた使命や、様々な課題を解決していくためには、生産者・関係者が一致団結して、取り組んでいく必要があると認識しています。

このため、畜産会は、国や県、市町村はもとより、農畜産業振興機構、中央畜産会、地方競馬全国協会、農協組織などと緊密な連携を図りつつ、御支援をいただきながら、経営診断指導や畜産クラスター事業等による生産技術向上対策、補給金・補填金等を活用した経営安定対策、家畜登録事業や共進会の開催による家畜改良対策、家畜伝染病の侵入を防止する家畜防疫対策、県産畜産物の消費拡大など、諸事業の推進に総合的に努めてまいります。

畜産会に対する絶大な御支援、御指導を重ねてお願いいたしまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人埼玉県畜産会 第 71 回通常総会開催

〔令和 8 年 6 月 11 日 午後 2 時 00 分～ ホテルヘリテイジ（熊谷市）〕

鈴木副会長の開会、清水会長の挨拶の後、埼玉県農林部 竹詰 一部長、（公社）中央畜産会経営支援部 武田 航 部長から来賓の御挨拶を賜りました。

清水会長が議長に選任され議事に入りました。

まず、令和 7 年度の事業報告後、以下の議案を審議しました。

第 1 号議案 令和 7 年度収支決算及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第 2 号議案 令和 8 年度会費の賦課・徴収方法の決定について

第 3 号議案 令和 8 年度借入金最高限度額並びに借入先・預入先金融機関の決定について

第 4 号議案 令和 8 年度役員報酬額の承認について

第 5 号から 19 号議案 任期満了に伴う役員の改選について

各議案とも可決承認されました。

その後の第 2 回理事会において、正副会長が再任されたことが報告されました。

閉会に当たり、中村滋副会長より総会の無事終了の謝辞並びに引き続き本会運営への協力依頼があり、終了となりました。



会長挨拶
(清水会長)



来賓祝辞
(竹詰農林部長)



来賓祝辞
(武田部長)



閉 会
(中村副会長)



多くの来賓の出席を賜り盛大に開催

令和 8 年度臨時総会開催

〔令和 8 年 8 月 6 日 午後 2 時から ホテルヘリテッジ（熊谷市）〕

清水会長の挨拶後、埼玉県農林部畜産安全課 宮田 基主幹から来賓の御挨拶を賜りました。

埼玉中央農協大澤組合長が議長に選任され、議事に入りました。

6 月 11 日の通常総会の後に、構成団体選出の会長を含め 4 名の役員の辞任が生じたことにより、役員の補欠選任が行われ、全国農業協同組合埼玉県本部運営委員会副会長の大澤利宏氏、埼玉県農業協同組合中央会の西田秀生氏、埼玉県養豚協会会長の坂本和彦氏が理事に、埼玉県信用農業協同組合連合会常務理事の蓮見 仁氏が監事に就任しました。

その後の理事会において、大澤利宏氏が新会長に選出されました。

新たな会長の下、役職員一丸となり事業を推進してまいります。

なお、畜産会の新役員名簿は後掲しておりますので御覧ください。



祝辞
（畜産安全課宮田主幹）



就任挨拶
（大澤新会長）



花束贈呈
（清水前会長）

令和 7 年度 主要事業の概要

1 生産技術向上対策に関する事業

(1) 畜産経営技術指導事業

畜産経営に関する生産技術や財務管理などを支援

ア 畜産コンサルタント団の設置

イ 個別支援（延べ 31 戸）

（ア）経営診断に基づく改善方法等の助言

（イ）財務諸表の作成、分析、及び生産技術の助言

（ウ）助言内容の定着を図るための巡回指導

ウ 家畜改良支援

（ア）家畜登録の推進 2,028 頭

（イ）優良な凍結精液や受精卵の供給 8,131 本

（ウ）共進会の開催等 18 頭

エ 情報提供

和牛改良講演会等

(2) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（中央畜産会）

事業申請取りまとめ、導入機械の現地確認、協議会や取組主体への指導を実施

ア 成果報告作成指導 12 協議会

(3) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（全国推進事業）（中央畜産会）

畜産経営の実態を把握するため動向調査を実施した。

ア 調査戸数 15 戸

(4) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会）

労働負担軽減・ICT 化を図るため、飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入を推進するとともに利用状況の確認や事業効果を高めるための改善指導

ア 機械導入 2 戸（酪農 自動給餌機 1 基・搾乳関連機器 1 基）

イ 利用状況確認 1 件

(5) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会）

優良な繁殖雌牛の増頭に対し奨励金を交付することにより和牛生産を拡大

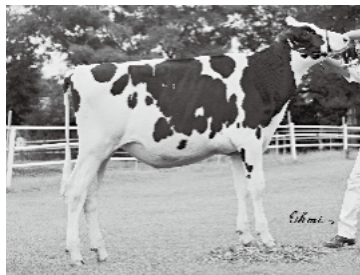
ア 交付頭数 22 頭（8 戸）

イ 交付金額 2,450,000 円（埼玉県肉用牛経営クラスター協議会を通じて交付）

(6) 家畜共進会の開催等

ア 第 59 回埼玉県乳牛共進会 令和 8 年 3 月 7 日（土） 15 頭出品 埼玉県農業大学校

イ 第 16 回全国ホルスタイン共進会 令和 7 年 10 月 25 日～26 日 3 頭出品 北海道安平町



【全国ホルスタイン共進会出品牛】

2 経営安定対策に関する事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務受託（農畜産業振興機構）

肉用牛経営の安定を図るため、肉用牛の交付金業務を円滑に実施し、積立金管理者として制度の普及や支援を行った。

交付金交付契約者件数（令和 8 年 3 月 31 日現在） 44 件

〔交付金交付実績（令和 8 年 3 月 31 日現在）〕 (単位：人、頭、円)

品 種	延交付人数	交付頭数	交付金交付総額
肉 専 用 種	136	2,670	58,615,083
交 雑 種	43	349	2,918,480
乳 用 種	64	1,471	42,704,972
合 計	243	4,490	104,238,535

(2) 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

〔補給金交付頭数及び補給金総額（令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月）〕

発動実績なし

(3) 鶏卵価格安定対策事業（埼玉県）

鶏卵生産者が鶏卵価格差補てん金の財源として積み立てる生産者積立金のうち、卵価が補てん基準価格を下回った月に係る生産者積立金の一部に助成

ア 事業参加農家 10 戸

イ 助成実績 なし（価格安定制度発動なし）

(4) 配合飼料等価格高騰緊急対策事業（埼玉県）

配合飼料等の価格高騰の影響を緩和するため、購入経費の一部を補填した。

ア 補填数量 47,444.79 t (31 戸)

イ 補填金額 474,447,800 円

(令和 7 年度交付 60,324,600 円＋前年度交付済 414,123,200 円)

3 家畜改良対策に関する事業

(1) 家畜登録事業（日本ホルスタイン登録協会、日本養豚協会、全国和牛登録協会）

〔家畜登録実績〕

(単位：件・%)

ホルスタイン種				種 豚				和 牛			
区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画
血統登録	270	298	110.3	種豚登録	100	103	103.0	子牛登記	1,660	1,456	87.7
移動証明	10	8	80.0	繁殖産子産肉	20	0	0	基本登録	280	194	69.2
牛群審査	80	117	146.2	子豚登記	170	113	66.4	移 動	50	8	16.0
体型調査	40	66	165.0	子・種移動	40	3	7.5	遺伝子型他	440	347	78.8
検定証明	300	484	161.3	黒豚証明他	130	22	16.9	そ の 他	20	5	25.0
そ の 他	0	5	—	そ の 他	40	78	195.0				
計	700	978	139.7	計	500	319	63.8	計	2,450	2,010	82.0

(2) 牛凍結精液配布事業

乳牛、和牛の改良を促進するため、県の窓口団体として凍結精液等の販売を行った。

[配布実績]

(単位：本 %)

区 分		前年実績	本年実績	前年比
(一社)家畜改良事業団等	乳牛(一般)	1,220	989	81.1
	乳牛(性判別♀)	707	755	106.8
	和牛	5,450	4,386	80.5
他県・その他授精所頭	乳牛	380	579	152.3
	和牛	430	1,422	330.6
合 計		8,187	8,131	99.3

4 家畜防疫体制確保に関する事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業(農林水産省)

ア ヨーネ病対策

まん延防止等のための自主とう汰等を推進

イ 牛伝染性リンパ腫対策

(ア) 牛伝染性リンパ腫検査 1,663 頭

(イ) 吸血昆虫の忌避・駆除対策 1 農家

ウ BVD対策

(ア) BVD検査 1,831 頭

エ 農場飼養衛生管理強化対策

獣医師等による衛生指導 農家 9 戸

(2) 家畜防疫・衛生指導対策事業(中央畜産会)

伝染性疾病発生時の防疫対応を支援する防疫演習等を実施

ア 埼玉県特定家畜伝染病防疫演習

169 名参加 伊奈町 令和 7 年 10 月 16 日

イ 中央家畜保健衛生所特定家畜伝染病防疫演習

47 名参加 さいたま市 令和 7 年 9 月 11 日

ウ 川越家畜保健衛生所特定家畜伝染病防疫演習

25 名参加 川越市 令和 7 年 10 月 7 日

エ 熊谷家畜保健衛生所高病原性鳥インフルエンザ防疫演習

11 名参加 熊谷市 令和 7 年 10 月 2 日





(3) 馬飼養衛生管理特別対策事業 (中央畜産会)

ア 委員会・技術講習会の開催

イ 地域馬獣医療実態調査数 42 件

(4) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 (中央畜産会)

ア 馬インフルエンザワクチン接種 325 頭 補助金額 1,280,500 円

イ 馬鼻肺炎ワクチン接種 2 頭 補助金額 24,000 円

5 消費者信頼確保に関する事業

(1) 地域畜産支援指導等体制強化事業 (中央畜産会)

ア 浦和競馬場で畜産フェアの開催 令和 7 年 11 月

「セイメイファームのプリン」「はちみつ」「ドライソーセージ」を特別価格で販売

県産畜産物の WEB でのプレゼント

(2) 浦和競馬組合場内活性化事業 (県浦和競馬組合)

競馬組合 SNS で県産畜産物プレゼント企画を実施

ア 深谷牛焼肉セット、武州豚バーベキューセット、榎本牧場ジェラート等





(3) 馬事畜産振興推進事業（馬事畜産振興協議会）

協議会を開催するとともに、令和 7 年 11 月に浦和競馬において、冠レース（4 レース）を開催し地方競馬の振興を図った。

(4) 地方競馬ミルクウィークへの参加

牛乳消費拡大のため各道府県の畜産会が協力し、競馬場において地域に根ざしたイベントを開催。令和 8 年 3 月に浦和競馬において、乳製品を配布。

(5) 馬に係る県内伝統行事への支援

秩父神社例大祭御幸「御神馬奉納ノ儀」（秩父市）、棕神社御田植祭（秩父市）
八幡神社例大祭鉄砲祭り（小鹿野町）、出雲伊波比神社のやぶさめ（毛呂山町）

(6) 彩の国農林業ドリームフェスタに参加

令和 7 年 11 月 15 ～ 16 日 熊谷文化スポーツ公園

畜産生産者団体と連携し、牛乳・精肉・卵・焼肉・目玉焼トースト・はちみつの販売などにより県産畜産物を PR



6 畜産関係団体の事務受託

各団体の事業計画に基づき、諸事業を推進。

- (1) 埼玉県酪農協会（会員：団体 11、個人 37、賛助 15）
- (2) 埼玉県肉用牛経営者協会（会員：団体 5、個人 61、賛助 5）
- (3) 埼玉県養豚協会（会員：団体 7、個人 36、賛助 31）
- (4) 埼玉県養鶏協会（会員：団体 8、個人 16、賛助 49）
- (5) 埼玉県養蜂協会（会員：個人 133）
- (6) 埼玉県畜産技術振興会（会員：団体 10、個人 89）
- (7) 埼玉県畜産懇話会（会員：団体 20）
- (8) 畜産女性いきいきネットワーク埼玉（会員：個人 26、団体 5）
- (9) 埼玉県牛群検定組合（会員：個人 13）
- (10) 埼玉県粗飼料利用研究会
- (11) 埼玉県馬事畜産振興協議会
- (12) 埼玉県秩父高原牧場利用者互助会
- (13) 埼玉県C S F 感染拡大防止対策協議会
- (14) 埼玉県畜産技術協会
- (15) 埼玉県エサ活事業推進協議会

令和 8 年度も事業を実施して参ります。
御指導・御協力をお願いします。

埼玉県農林部畜産安全課

2. 新熊谷家畜保健衛生所について

令和 8 年 9 月 1 日に開所する新熊谷家保の概要と特徴は次のとおりです。

○建物概要

所 在 地：熊谷市久保島 1373-3（農業技術研究センター玉井試験場南側敷地）

敷 地 面 積：11,553.51㎡

延 床 面 積：3,416.65㎡

うち

本 館 棟：1,924.97㎡、

S P・野生動物検査棟：592.50㎡、

防疫資材倉庫：699.27㎡

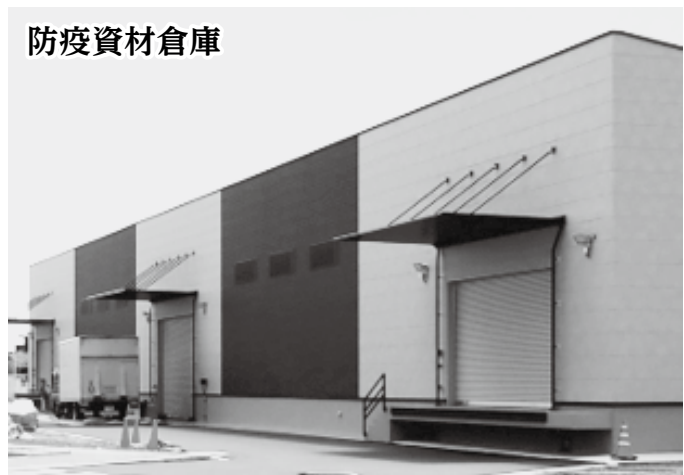


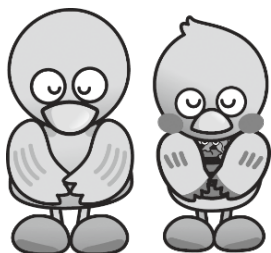
○特徴

- ・病原体の拡散リスクを低減させる「BSL 3 検査室」を有する等、高度なバイオセキュリティを備えた施設
- ・防疫資材倉庫の整備により、特定家畜伝染病発生時の迅速な初動対応が可能
- ・本館棟及びSP棟について、太陽光発電設備を設置すること
- ・本館棟 2 階全体の構造材及び外壁等に県産材を含めた木材を使用



再編により、家保の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図るとともに、より一層の家畜防疫体制の強化を目指していきます。





埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

お世話になりました！

**『中央家畜保健衛生所は
令和 8 年 8 月末日に廃止されます』**

中央家畜保健衛生所職員一同

中央家畜保健衛生所（以下、中央家保）は昭和 27 年に発足し、当時の浦和市に設置されました。昭和 42 年に桶川家保と統合、昭和 44 年に現在の場所へ移転し、「埼玉県大宮家畜保健衛生所」に改称されました。その後、平成 13 年の杉戸家保閉鎖に伴い、管轄地域の一部（南埼玉郡・北葛飾郡）を編入。後に「埼玉県中央家畜保健衛生所」と改称され、現在に至ります。発足から 74 年間、地域における家畜衛生の向上や畜産振興の活動拠点としての役割を担ってきましたが、令和 8 年 8 月末をもってその歴史に幕を下ろすこととなりました。

中央家保管内の畜産農家をはじめ、関係者の皆様にはこれまで大変お世話になり、職員一同、心から深く感謝申し上げます。今後は川越家保の管轄地域となりますが、引き続き地域に根差した畜産支援と家畜衛生の一層の向上に尽力してまいりますので、今後とも御協力賜りますようお願い申し上げます。



～豚熱の殺処分範囲が見直されました～

熊谷家畜保健衛生所

2018 年、国内で 26 年ぶりに豚熱が発生しました。その後、2026 年 6 月末現在までに 104 事例、約 44 万 8 千頭が殺処分されています。豚熱の感染拡大を受け、2019 年からワクチン接種が開始され、現在、北海道を除く全ての都府県においてワクチン接種が行われています。

この度、適切なワクチン接種により免疫を獲得した症状のない豚は感染拡大リスクにならないことが確認されました。

このため、2026 年 5 月に家畜伝染病予防法が改正され、豚熱ワクチン接種地域においては、これまでの全頭殺処分から、伝播リスクとなりうる豚のみを殺処分する「選択的殺処分」が導入されました。

選択的殺処分の概要は下記のとおりです。なお、記載した内容は基本的な考え方であり、実際の発生では国と県が協議して殺処分範囲等を決定します。



殺処分の範囲

1. ワクチン免疫が成立していない豚（未接種・接種後 20 日未経過・発育不良）
2. 症状が認められ、遺伝子検査陽性となった豚
3. その他家畜防疫員が必要と判断した豚
4. 豚熱感染確認後、新たに生まれる子豚（防疫措置完了後は対象外となります）

※例外的として、ワクチン接種が早すぎるなど、ワクチンが適切に接種されていない場合は全頭殺処分対象となります。また、感染が限局していない（農場内にウイルスが「広範囲に浸潤」している）場合は、繁殖豚を除く全頭が殺処分対象となります。

防 疫 措 置

防疫措置とは、①殺処分、②死体等の処理、③畜舎等の消毒（1 週間間隔で 3 回実施）を指します。防疫措置は飼養を継続する豚との交差汚染防止を徹底しながら行い、これらすべてが完了した時点で防疫措置の完了となります。

監視プログラム

殺処分対象外の豚は、病性等判定日から約 3 か月の間、移動制限や報告徴求により監視されます。しかし、防疫措置が完了しているかつ豚に臨床症状がない等の場合はと畜場への出荷や子豚の肥育農場への移動が可能となります。

監視プログラムは、解除検査においてすべての豚で①臨床検査で異状確認されないか、② PCR 検査が陰性であることが確認された後、制限期間の終了とともに解除されます。

都府県では豚熱において選択的殺処分が導入されましたが、それでも豚熱の発生リスクは変わっていません。引き続き、農場や畜舎内の衛生管理を徹底するとともに、防護柵・防鳥ネット等を設置して野生動物の侵入を防止してください。また、適切なワクチン接種に実施してください。



秩父高原牧場だより

●今年度の放牧が始まっています

春先の悪天候で放牧地の草の伸びが遅く、放牧開始時期が心配されましたが、無事、4月より預託牛・県有和牛の放牧を開始しています。

7月末までに預託牛3群57頭、県有和牛1群8頭計65頭を放牧しました。当牧場では放牧群を形成するとき、特に預託牛では牛の大きさや下牧のタイミングが近い牛を揃えています。現在放牧している牛のうち、預託牛2群と県有和牛は妊娠牛です。分娩予定日が近づいてきた牛は、順次放牧地から牛舎に戻し、下牧や分娩の準備にかかります。残りの1群は、昨年度末から今年度に入牧したばかりの比較的小柄な育成牛たちです。今後は、妊娠牛の群をさらに1群を放牧する予定です。

また、放牧地は、梅雨時期の恵みの雨のおかげで、春先とは変わって草の発育が良好です。普段牛舎で過ごしている牛たちは、放牧されると元気よく走り回り、草をおいしそうに食べています。夏は放牧地も暑くなるため、牛が体調を崩さないよう気を付けて管理を行っていきます。

●預託牛随時募集中です

県内酪農家の皆様からお預かりした育成牛は、広い放牧地に放牧され、足腰の強い丈夫な体に育ちます。また、預託農家が要望する精液・受精卵を利用して人工授精・受精卵移植を行いますので、個々のニーズに応じた乳用牛の改良や経営の安定化が期待できます。

労働時間の短縮や省力化、また、円滑な搾乳牛の更新をお考えの酪農家の皆様、是非、牧場に育成牛を預けてみませんか？

御希望がありましたら、管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

●黒毛和種子牛の譲渡をしています

当牧場では、預託牛に優良系統和牛の受精卵移植を行い、それにより産出した和牛子牛の買取を行うとともに、当牧場で生産した和牛子牛と合わせて育成・譲渡しています。

詳細は、当牧場育成担当までお問い合わせください。



【放牧中の預託牛】



【放牧中の県有和牛】



【譲渡前の県有和牛子牛】

埼玉県秩父高原牧場 育成・ふれあい担当

電話 0494-65-0311

FAX 0494-65-0811

牛乳消費拡大のため「地方競馬ミルクウィーク」に参加しました

国内の生乳消費の落ち込みが予想される年度末、3 / 12（木）～ 3 / 22（日）の 11 日間を「地方競馬ミルクウィーク 2026」と銘打ち、各道府県の畜産協会が協力し、競馬場にて地域に根差した生乳消費拡大を図りました。本会は 3 月 19 日（木）に、浦和競馬場の来場者に対して「加藤牧場の乳製品詰合せ」や県産生乳 90%を使用した「ミルクコーヒー」などの無料配布を行った他、冠レースに「加藤牧場の乳製品詰合せセット」を副賞として提供しPRを行いました。



【冠レース勝利馬と副賞獲得した関係者との記念撮影】

桶川市べに花まつりで桶川牛乳を販売しました

令和 8 年 6 月 20 日（土）・21 日（日）、道の駅べに花の郷おけがわで、「第 29 回べに花まつり」が開催され、市内外から多くの来場者が訪れました。桶川市畜産振興協議会は「桶川牛乳」を販売しました。「桶川牛乳」は、全農さいたまの協力でイベント限定で生産されており、桶川産の生乳をガラス瓶に充填したものです。販売ブースでは、酪農家の写真パネルの展示や牛乳消費拡大のためのグッズ配布もありました。ガラス瓶の桶川市のマスコットキャラクター「オケちゃん」のデザインも好評で、瓶の牛乳を飲んだことがないお子さんには珍しかったようです。



【牛乳販売】



【桶川牛乳】

イベント・行事予定

1 令和 8 年度和牛登録審査研修会

研修内容：和牛登録に係る基本的な知識と技術について、講義及び実習を実施。

令和 8 年 2 月頃開催予定

参集範囲：埼玉県、埼玉県農業共済組合、農業協同組合、産業獣医師等

2 共進会の計画

養蜂 日時：令和 8 年 9 月 2 9 日（火）・3 0 日（水）

場所：さいたま教育会館 2 8 1 点

肉牛 日時：令和 8 年 1 1 月 9 日（月）

場所：さいたま食肉市場 3 0 頭出品

養豚 日時：令和 7 年 1 1 月 6 日（金）

場所：さいたま食肉市場 1 0 0 頭出品

乳牛 第 6 0 回埼玉県乳牛共進会

日時：令和 8 年 1 0 月 1 0 日（土）

場所：埼玉県農業技術研究センター玉井試験場
3 0 頭出品

乳牛 第 2 1 回関東地区ホルスタイン共進会

日時：令和 8 年 1 1 月 1 2 日（木）～1 3 日（金）

場所：神奈川県家畜集合センター 1 0 0 頭出品



3 浦和競馬場畜産フェア

日 時：令和 8 年 1 1 月 2 4 日（火）～2 7 日（金）

会 場：浦和競馬場

冠レースの実施や県産畜産物プレゼントなどを通じて
埼玉県の畜産をPRします。



4 おいしさいっぱい畜産フェア

「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」と同時開催。

県産農畜産物をPRする県内最大規模の農業イベント
県産畜産物や加工品の試食販売を行います。

日 時：令和 8 年 1 1 月 2 1 日（土）～2 2 日（日）

会 場：熊谷スポーツ文化公園



畜産団体の活動状況

埼玉県酪農協会総会

開催日：令和8年7月3日（金）
場 所：埼玉県農林公園（深谷市）
会 長：高田 茂
副会長：森 紀之、戸田喜裕、岩崎真一

埼玉県牛群検定組合総会

開催日：令和8年7月3日（金）
場 所：埼玉県農林公園（深谷市）
会 長：時田 裕
副会長：寺田 治、鈴木 篤

講 演 会

演 題：「国内で利用され始めているスリック牛について」

講 師：株式会社野澤組 畜産部 課長代理 森 真司 氏



埼玉県養豚協会総会・研修会

開催日：令和8年6月19日（金） 場 所：熊谷スポーツホテル（熊谷市）

会 長：坂本和彦

副会長：笠原弘久、清水由香、松村 淳

演 題：自然由来アスタキサンチン含有飼料原料 Panafead®（パナファード）のご紹介
— 暑熱ストレス下での繁殖成績改善の可能性 —

講 師：ENEOSテクノマテリアル(株) ニュートリション事業部
グローバル営業グループ マネージャー 村岡 英俊 様

演 題：繁殖成績向上論

講 師：(株) サンエスブリーディング技術部長 下山 安 様

埼玉県養鶏協会総会・研修会

開催日：令和8年6月18日（火）

場 所：キングアンバサダーホテル（熊谷市）

会 長：齋藤大天

副会長：松本邦義、栗原忠寿、一柳憲隆、境野修二

演 題：中国の養鶏の現状と日本への影響について

講 師：株式会社PPQC研究所 代表取締役会長 加藤 宏光 氏



埼玉県畜産技術振興会総会

開催日：令和8年6月29日（月）

場 所：埼玉県農林公園（深谷市）

会 長：川田隆作

副会長：蜂須孝政、森 紀之、長島 登

埼玉県肉用牛経営者協会総会

開催日：令和8年6月29日（月）

場 所：埼玉県農林公園（深谷市）

会 長：長谷川桂一

副会長：山下 勝、森島 了、金子健司

講 演 会

演 題：「近年の暑熱環境は乳用牛の乳生産性・繁殖性にどう影響しているか

～"異常な暑さ"に適応するための効果的な暑熱対策～」

講 師：北里大学獣医学部動物資源科学科 動物飼育管理学研究室 鍋西 久 氏



埼玉県養蜂協会蜜蜂講習会

開催日：令和8年7月17日（金）

場 所：埼玉県農林公園（深谷市）

会 長：金子英樹

副会長：高田 勇、間室 治

演 題：蜜蜂の病気について

講 師：守屋 由貴氏（中央家畜保健衛生所 家畜防疫担当）

演 題：養蜂技術指導について（ダニ防除・給餌方法・蜂の増やし方・女王蜂の作り方）

講 師：養蜂家パネリスト 本協会顧問・理事4名



畜産女性いきいきネットワーク埼玉総会・交流会

開催日：令和8年6月10日（水）

場 所：埼玉県農林公園（深谷市）

会 長：加藤恵美子

副会長：内田美智子、山下玲子

テーマ：「小原流生け花教室

吉野先生によるアレンジ風生け花」



一般社団法人 埼玉県畜産会役員名簿

(令和 8 年 8 月 6 日現在)

職 名	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
会 長	大 澤 利 宏	全国農業協同組合連合会埼玉県本部 運営委員会副会長
副 会 長	鈴 木 貞 美	埼玉県農業共済組合 副組合長理事
副 会 長	中 村 滋	(公社) 埼玉県獣医師会長
理 事	西 田 秀 生	埼玉県農業協同組合中央会専務理事
理 事	松 本 邦 義	(一社) 埼玉県配合飼料価格安定基金協会理事長
理 事	小 林 哲 也	熊谷市長 (市長会)
理 事	櫻 澤 晃	神川町長 (県町村会)
理 事	高 田 茂	埼玉県酪農協会長
理 事	長谷川 桂 一	埼玉県肉用牛経営者協会長
理 事	坂 本 和 彦	埼玉県養豚協会長
理 事	齋 藤 大 天	埼玉県養鶏協会
理 事	野 口 孝	埼玉県調教師会長
専 務 理 事	加 藤 幸 彦	学識経験者
監 事	蓮 見 仁	埼玉県信用農業協同組合連合会常務理事
監 事	金 子 健 司	さいたま食肉市場 (株) 代表取締役

（一社）埼玉県畜産会事務分掌表

令和 8 年 6 月 12 日 現在

職 ・ 氏 名		分 掌 事 務
常勤役員	専務理事 加 藤 幸 彦	会務運営統括、関係団体に関する業務（畜産会事務局が担当する業務を除く）、産業動物獣医師養成確保修学資金給付事業、団体指導（15受託団体）、会報発行
事務局	事務局長 宮 本 賢 一	事務局統括、経営診断業務の総括、地域畜産支援指導等体制強化事業、馬事畜産振興推進事業、地域畜産フェア拡大推進事業、浦和競馬関係事業、ドリームフェスタ幹事会、団体事務局（埼玉県秩父高原牧場利用者互助会、埼玉県馬事畜産振興協議会、埼玉県畜産技術協会、埼玉県エサ活事業推進協議会）、畜産クラスター事業（機械導入）（副）、畜産 ICT 事業・酪楽 GO 事業（副）
総務部	部 長 中 島 智 子	総務部業務の総括、会務全般事務、畜産振興補助事業、基金事業の資金管理、団体事務局（埼玉県養蜂協会）
	専 門 員 松 尾 奈緒美	経理事務、文書管理事務、郵送・発送管理事務、印刷費管理事務、肉用子牛生産者補給金制度業務の補助
	臨時職員 松 本 祐 子	経営安定対策・家畜登録事業・牛凍結精液配布事業の作業補助、その他総務部及び事業推進部事業の補助（各種データ入力、資料編集ほか）
	臨時職員 高 瀬 美由紀	経営安定対策・家畜登録事業の作業補助、その他総務部及び事業推進部事業の補助（各種データ入力、資料編集ほか）
事業推進部	主 幹 木 村 紀美江	家畜改良業務の総括、牛凍結精液配布事業・登録業務（乳牛）、乳牛改良事業全般、団体事務局（埼玉県酪農協会、埼玉県牛群検定組合（正））
	主 査 安 里 誠	肉用子牛生産者補給金制度関連業務（副）、優良繁殖雌牛更新加速化事業、鶏卵価格安定対策事業、貸付事業（畜産リノベ事業・畜産環境整備機構・畜産近代化リース）、団体事務局（埼玉県養鶏協会）、家畜衛生事業全般（副）
	主 任 吉 田 英 樹	畜産クラスター事業（機械導入）（正）、畜産 ICT 事業・酪楽 GO 事業（正）、登録業務（和牛）、和牛改良事業全般、牛凍結精液配布事業・登録業務（乳牛）（副）、ホームページ・会内ネットワーク管理業務、団体事務局（埼玉県養豚協会）
	技 師 土 井 美 鈴	畜産経営技術指導事業、家畜衛生事業全般（家畜生産農場衛生対策事業、家畜防疫互助基金支援事業、馬飼養衛生管理特別対策事業、家畜防疫・衛生指導対策事業）、畜産グルメガイド、団体事務局（埼玉県畜産技術振興会、埼玉県牛群検定組合（副）、埼玉県粗飼料利用研究会）
	主 事 坂 田 さゆり	肉用牛肥育経営定交付金制度業務、馬伝染性疾病防疫推進対策事業、団体事務局（畜産女性いきいきネットワーク埼玉、埼玉県養蜂協会（幹旋物資）、埼玉県牛群検定組合（牛群検定入力）
	技 師 新 谷 晴 生	肉用子牛生産者補給金制度関連業務（正）、畜産クラスター全国実態調査、登録業務（豚）、牛凍結精液配布事業・登録業務の補助、団体事務局（埼玉県肉用牛経営者協会）

第30回さきたま杯(Jpn I)を実施しました



令和8年6月24日に実施した「第30回さきたま杯(JpnI)」では、JRA所属のロードフォンス号が優勝しました。売得金額は1,948,463,800円（前年比102.5%）、開催当日の総売得金額（SPAT4 LOTO含む）は3,202,807,480円（前年比104.1%）と前年を上回る実績となりました。また、入場人員は9,695名（前年比142.4%）となり、多くのお客様にご来場いただきました。



本競走は、JRA 所属馬と地方競馬所属馬が頂点を競う ダートグレード競走として、全国から高い注目を集めており、今年も多く競馬ファンが熱戦を見守りました。当日は場内イベントとして、ステージイベントや抽選会などを実施し、多くの来場者にレースとあわせてお楽しみいただくことで、浦和競馬の魅力を広く発信する機会となりました。

さきたま杯に続き、浦和競馬場では、9月23日(祝水)に「オーバルスプリント(JpnⅢ)」、11月25日(水)に「浦和記念(JpnⅢ)」を開催します。両日とも白熱したレースをお楽しみいただくとともに、ステージイベントや抽選会など、幅広い世代の皆様にお楽しみいただけるイベントも予定しています。今後も全国から注目を集めるダートグレード競走を通じて、ダート競馬および浦和競馬の魅力を発信してまいります。

令和8年（2026年）9月～12月 南関東地方競馬開催日程

令和 8年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
9月	大		井					川		崎					大		井						浦	和					船	橋	
	●アフター5スター賞				戸塚記念●				●若武者賞				●東京記念				●ゴールドジュニア				★オーバルスプリント				日本テレビ盃★						
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	船	橋			大			井					川		崎					浦	和						大		井		
	★マリナーカップ		★レディスブレイブ				ジャパンダートクラシック★				★東京盃				●鎌倉記念				●埼玉栄冠				●マイルグランプリ								
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
			船		橋					川		崎				大		井						浦	和				大	井	
	●平和賞				ロジータ記念●				●ローレル賞				●ハイセイコー記念				浦和記念★				●サザンスタースプリント										
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
			大		井				船		橋				川		崎					浦	和							井	
	●勝島王冠				●船橋記念				★全日本2歳優駿				●ゴールドカップ				★東京大賞典				東京シンデレラマイル●				東京2歳優駿牝馬●						
	●ジューストーン賞																														
は昼間・はくほ開催 は夜間開催 ★ 印はダートグレード競走 ● 印は重賞競走																															

浦和競馬へ行こう！



近さが魅力の浦和競馬。
白熱したレースが間近で観戦できます。

指定席予約サイトで指定席を事前予約すると
快適な環境で競馬観戦をお楽しみいただけます。

開催情報など詳しくは
浦和競馬 HP をチェック！



WINS

ウインズ浦和
(浦和競馬場)

浦和競馬場ではJRAが開催する日曜日・祝日及び
G I 開催週の土曜日等（代替開催を除く）に
勝馬投票券の発売・払戻を行っています。

※浦和競馬公式ホームページ等で営業日・営業時間等をご確認の上、ご来場ください。



【浦和競馬場へのアクセス】

JR浦和駅東口より徒歩15分

JR南浦和駅東口より無料送迎バス5分

【ホームページ】<https://www.urawa-keiba.jp/>

【所在地】さいたま市南区大谷場 1-8-42 【TEL】048-881-1551